

闇バイト 近づかないで 東北福祉大が学生向け講座



闇バイトの特徴を紹介し、学生に注意を促した講座

東北福祉大は4日、仙台市青葉区の国見キャンパスで、交流サイト(SNS)を通じて強盗や特殊詐欺などの実行犯を募る「闇バイト」の手口や対策を伝える学生向けの講座を初めて開いた。

1年生を中心に学生約2

80人が参加した。県警で特殊詐欺の捜査に当たっていた元警察官で同大学生支援センターの熊谷康次長が講師を務めた。

闇バイトの誘い文句として「高額報酬」「即日支払い」などを紹介。「闇バイトは犯罪者の募集。楽に大

金を稼げる仕事はない」と注意を促した。

応募に際し、犯罪グループから運転免許証や学生証といった身分証明書、家族の情報を送信するよう求められるケースがあると指摘。「犯罪をやめたいと思っても、個人情報を使って脅される。SNSで見知らぬ相手に情報を送らないことが大切だ」と強調した。

社会福祉学科1年木村真太郎さん(19)＝利府町＝はSNSのダイレクトメッセージに、月収50万～200万円のバイト勧誘が届いたことがあるという。「あまりにも高収入で明らかに怪しいと分かったが、改めて注意したい」と話した。